

太陽生命、富士通の協力を得て全国 146 力所の支社基盤サーバを刷新・強化 ～ 富士通の PC サーバ「PRIMERGY」と仮想化技術を活用し、年間約 150 トンの CO2 を抑制～

T & D 保険グループの太陽生命保険株式会社（社長：中込 賢次）は、T & D 情報システム株式会社（社長：山住 明宏）、富士通株式会社（社長：山本 正己）と共同で、基幹業務を支えるための「支社基盤サーバ」の刷新・強化を全国 146 支社で実施いたしました。

今回の「支社基盤サーバ」の刷新・強化に当たっては、最新の ICT 技術である「仮想化技術」を活用したことにより、年間約 150 トンの CO2 抑制と約 5 億円のコスト削減効果を実現することができました。

太陽生命は、2006 年に制定した T & D 保険グループ環境方針^(注1)にもとづき、「太陽生命の森林」などの環境保全の取り組みを推進しております。この度の、基幹業務システムを稼働させるための「支社基盤サーバ」の刷新・強化にあたってはグリーン IT 化が課題の 1 つと考えておりました。

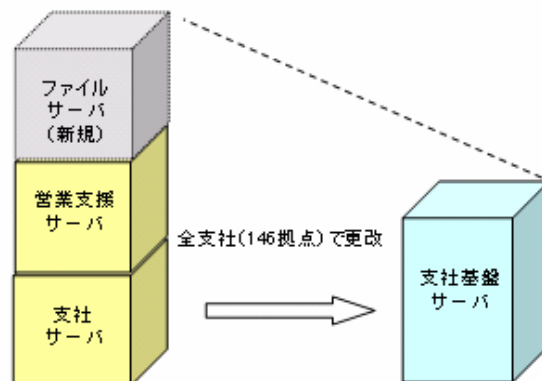
太陽生命は、これらの取り組みを推進するため、富士通の PC サーバ「PRIMERGY RX200」と仮想化ソフトウェア「VMware」を採用いたしました。複数のサーバを 1 台に集約できる「仮想化技術」を導入したことにより、個別に更改する予定であった「営業支援サーバ」と新たに導入する予定であった「文書ファイルサーバ」を「支社基盤サーバ」に統合することができました。

この結果、全国 146 力所にある支社に、従来であれば各支社 3 台ずつ必要であったサーバを、各支社 1 台のサーバに集約することができました。最新の ICT 技術を採用したことにより、各支社 3 台ずつサーバを導入した場合に比べ、年間約 150 トン（杉の木 1 万 714 本分^(注2)）の CO2 抑制と約 5 億円のコスト削減効果を実現することができました。

太陽生命はこのような環境保全の取り組みを通じ、“広く社会に役立ち、確かな未来に貢献できる会社”を目指してまいります。

【 仮想化技術を用いたサーバ統合のイメージ 】

- 仮想化技術を使わずに
従来型サーバを3台で構築した場合
- 仮想化技術を使い
3つのサーバを支社基盤サーバに統合



新「支社基盤サーバ」は、従来使用していた「支社サーバ」「営業支援サーバ」と比較し、CO2 換算で年間約 60 トン（杉の木 4,285 本分^(注2)）の抑制効果を見込んでいます。

一方、T & D 保険グループの情報システム子会社 T & D 情報システムと富士通は、支社サーバ刷新に向けた要件定義を行いました。富士通は、コストを抑えて、ソフトウェアを変更することなく、スムーズな移行を実現するため、富士通の仮想化技術を用いたサーバ統合のシステム構築実績をもとに、富士通のインフラ工業化を活用しました。インフラ工業化は、あらかじめパターン化した最適なシステム構成をベースに富士通のハードウェア製造工場でのソフトウェアのインストールや設定を行った上でお客様に出荷するサービスです。今回の構築にあたっては、長年、太陽生命の支社サーバの運用を担当し、仮想化システム構築とインフラ工業化の実績をもつ、株式会社富士通エフサス（社長：関根 英雄）と連携し、全国 146 支社の仮想化システムをコストを抑えて短期間で 1 件のトラブルもなく、スムーズに全国展開をすることができました。

なお、富士通は、太陽生命と共同で、営業活動の見える化を実現する BI (Business Intelligence) システム「T-SMAP (注 3)」の導入を支援するなど、ICT 基盤に留まらず、太陽生命の業務に直結するシステムの導入をサポートしております。今後も、業務の効率化や環境負荷の軽減を含めたシステムをトータルに提案することで、真のビジネスパートナーとして、太陽生命のビジネス発展に貢献していきます。

以上

【 関連Webサイト 】

<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/catalog/rx200s6/> (「PRIMERGY RX200」紹介サイト)

【 注釈 】

(注 1) T & D 保険グループでは、5 つの環境方針「事業を通じた地球環境保護」「環境負荷の軽減」「環境関連法規の遵守」「環境啓発活動の推進」「環境への取り組みの継続的改善」を定めており、すべての事業活動を通じてその実現に取り組んでおります。

(注 2) 杉の木 1 本 (杉の木は 50 年杉で高さが 20 ~ 30m) 当たり 1 年間に平均して約 14kg の二酸化炭素を吸収するとして試算。

(注 3) T-SMAP : 太陽生命の営業職員が使用する“携帯端末”などで導入され、営業活動をサポートするシステム。

【 商標について 】

・記載されている製品名などの固有名称は、各社の商標または登録商標です。

《 報道関係者のお問合せ先 》

太陽生命保険株式会社
広報部
電話：03-3434-5257 (直通)

富士通株式会社
広報 IR 室
電話：03-6252-2174 (直通)

《 お客様のお問合せ先 》

富士通コンタクトライン
電話：0120-933-200
受付時間：9 時 ~ 17 時 30 分 (土曜日・日曜日・祝日・年末年始を除く)